



東南アジア地域農学高等教育研究センター（SEARCA）主催の国際フォーラムにおいて松尾総長が基調講演を行いました（2020年10月28日）。

[SEARCA](#) (Southeast Asian Regional Center for Graduate Study and Research in Agriculture)は、1966年に東南アジア教育大臣機構のもとに設立された非営利組織で、農学分野における大学院教育および研究を発展させるための東南アジア地域センター（所在地：フィリピン）です。10月28日にSEARCAが主催する[国際フォーラム](#)がウェビナー形式で開催され、松尾清一総長が基調講演を行いました。総長は、名古屋大学が推進する国際的活動の一環として、アジア諸国において、自国を離れずに博士学位が取得できる、本学6研究科が参画している国家中枢人材養成プログラムの実施のために[サテライトキャンパス](#)を6ヶ国に設置していることや、学際的な国際共同研究・教育プログラムを展開するためのプラットフォームである国際熱帯農学ステーションについて説明を行いました。また、国際的研究者養成を目指した海外大学との共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラムについても言及し、東海国立大学機構名古屋大学が取組むアジア展開の方向性の具体的な事例を示しました。なお、生命農学研究科はフィリピン、カンボジアおよびラオスからサテライトキャンパス博士課程学生を受け入れ、また、[タイ・カセサート大学](#)および[西オーストラリア大学](#)との間で国際連携生命農学専攻の共同学位（博士課程）コースを設けています。

（詳細は青字下線部をクリックしてそれぞれのウェブサイトをご覧ください）



松尾総長によるウェビナー形式の基調講演